

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで  
つながろう」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「地域、次世代と共に、  
明るく!楽しく!!朗らか!!!に  
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー  
2560地区ガバナー 大谷 光夫  
高田ロータリー会長 高坂 光一  
幹事 高橋 正彦

事務局:新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス: takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場: デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守  
木村 隆

## 第14回例会 ■ 10月18日(金)

No.14

### 会長挨拶 ● 高坂 光一

#### 衛星クラブについて



このたび高田ロータリークラブでは衛星クラブを設立いたします。先日の理事会で承認された衛星クラブ名は「高田さくらロータリー衛星クラブ」、衛星クラブに対するクラブの基本的考え方は次の通りです。

RIでは「衛星クラブとは、ロータリークラブ設立のための手段のひとつ。衛星クラブは、本格的な独立したロータリークラブとなるまでの短期間の移行形態です。」(資料:日本事務局)とあり、新クラブ設立の手法と捉えられます。高田ロータリークラブではRIの趣旨を理解し、将来的に衛星クラブが発展、新クラブ設立に移行することも視野に入れますが、発足段階では、衛星クラブ会員が早期にロータリー活動を理解し、高田ロータリークラブ会員と友情を深め、将来高田ロータリークラブに入会する人材育成の場として捉えて

いきます。尚、衛星クラブに対して当クラブ理事会が適切とみなす一般的な監督と支援を衛星クラブに提供するものとします。

皆様には衛星クラブ会員は、私たちの仲間です。基本的活動、指導については衛星クラブ委員会が担当しますが、衛星クラブ会員は不安の中、仲間入りしてきます。各委員会では衛星クラブ委員会と協力し、クラブ新入会員同様に、一日も早くロータリー活動を理解、馴染むよう積極的に声をかけていただくようお願い致します。

現在RIへの申請に取り掛かっています。RI承認後、改めて皆さんに報告いたします。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

大谷光夫君・箕輪賢一君 (10/18 ライラ研修)  
石倉 悟君 (10/18～20 ライラ研修)  
小池猛紀君 (10/19 米山奨学委員長セミナー)

## 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

高坂光一君——衛星クラブの皆さん始めまして！そして…ようこそお越し下さいました。歓迎いたします。

衛星クラブ委員会——新会員の紹介



財団委員会——寄付のお願い

地区大会実行委員会——地区大会作業スケジュールについて

## 幹事報告

配布物：週報No.12・13、ロータリー100周年記念バッジ、ポリオバッジ、11/7上越海事セミナーのご案内、11/16丸山繁雄酔狂座コンサートチラシ

報告：赤い羽根共同募金のお願い

## ガバナーインフォメーション

今後の公式訪問予定

10月28日 新潟北RC

10月29日 柏崎中央RC

## 卓話 移住・定住コンシェルジュ



上越市 自治・地域振興課 移住・定住コンシェルジュ 柳原 志保様

上越市では、昨年度に策定した第6次総合計画の「後期基本計画」において、人口減少の進行により労働力やまちづくりの担い手が不足している実態を踏まえ、若者の移住・定住の促進を始め、女性や外国人の活躍など、まちづくりの人材育成と確保に対する取組に力を注いでいくこととし、移住・定住に向けた取組では、移住を考える方の意識や興味・関心の段階に応じ、移住検討の端緒となる情報発信や地域との交流、さらに移住後の定着に向けた支援を強化することとしました。

その具体的な取組の一つとして、市の移住相談の窓口である上越市ふるさと暮らし支援センターに移住から定住までを一貫してサポートする専門員である「移住・定住コンシェルジュ」を配置し、窓口での移住相談、首都圏での移住相談会への出

店のほか、移住後の定住支援も行っています。

首都圏での移住相談会では、まずは上越市を知ってもらうことを心掛けており、海も山もあり自然豊かであることはもちろんのこと、歴史を感じさせてくれる街並みや、商業施設も整い、北陸新幹線で東京まで約2時間と、田舎と都市の良いところを兼ね備えたちょうどよい街という意味で「いいあんばいの上越市」としてアピールしているところでは、

また、移住する人とその人を受け入れる地域とをつなぐ役割を担っていることから、市内の各地域の特徴や暮らしぶりを知ること、また、そこで暮らす多くの人たちとつながることで、移住を考える人たちがスムーズに地域に馴染み、定住していけるよう支援していきたいと考えています。